

Canvas X /Canvas X geo

バージョン : 20 ビルド 533 リリースノート

機能の改善点

- 虫眼鏡ツールでオブジェクトを選択すると、プロパティバー上左上に虫眼鏡ツールのアイコンと共に「ウィンドウに合わせる」ボタンが追加されました。
- テキストメニュー>挿入>ヘッダ/フッタを選択した後、プロパティバー上の挿入プルダウンメニューで「ファイル名」を挿入できるようになりました。
- テキストメニュー>挿入>ヘッダ/フッタを選択した後、プロパティバー上の挿入プルダウンメニューで「ユーザー名」を挿入できるようになりました。
- Canvas X Draw で設定したインク、ペン、点線、矢印を Canvas X のプリセットパレットへ取り込む事ができるようになりました。
- シンボルライブラリーパレットのマイシンボルにある Canvas X シンボルフォルダのコンテキストメニューに「シンボルセットを読み込む」が追加されました。
- ヘルプメニューに「Canvas 設定を復元」が追加されました。これによりプログラムを Canvas の初期デフォルト設定に簡単に戻す事が出来ます。
- ツールボックスのアノテーションレンズツールアイコンが新しくなりました。
- プロパティバーの「すべてのレイヤーから選択」チェックボックスはデフォルト設定では選択されていない形となりました。
- 選択ツールはハイパーリンクオブジェクトを察知します。Ctrl+クリックでオブジェクトをクリックすると、ブラウザでリンクが表示されるようになりました。
- オブジェクトを1つ選択しただけの状態でもプロパティバーに整列コマンドが表示され、ドキュメントを範囲としてそのオブジェクトを整列することができるようになりました。
- +A と-A アイコンがプロパティバーに追加された事でアイコンをクリックしてフォントサイズの調整ができるようになりました。

- 複数のオブジェクトが選択されている際、選択されたオブジェクトいずれかの端（コーナー）をドラッグする事で、全てのオブジェクトサイズの縦横比を保った状態で同時に変更できるようになりました。
- カメラツールを選択した際、プロパティバーに「ページ全体」ボタンが追加されました。これをクリックすることで、自動的に現行ドキュメント全てに対してレンダリングが行われます。

解決した問題

- ドキュメントレイアウトパレットでシート/ページ/フレーム/スライドにおけるレイヤーの可視もしくは不可視状態をオン/オフ表示で切り替える場合、全てのレイヤー（現行レイヤーは除く）に対して操作が一度に出来ない問題が解決しました。
- CVD ファイルを読み込んだ際、ドキュメント内に特殊文字が使用されていると、文字が正しく認識されない問題が解決しました。
- 効果メニュー> 鏡像を選択した際、表示されるメッセージとステータスバーの表示が正しくない問題が解決しました。
- 表オブジェクトで行もしくは列を挿入した際、表内のセルで現在使用中のフォントが無視されてしまう問題が解決しました。
- [開く]ダイアログボックスの4つのアイコンは High-DPI と互換性がない問題が解決しました。
- プロパティバーの[スマート吸着]オン/オフ設定とレイアウトメニュー> スマート吸着> スマート吸着をオンの表示とがシンクロしない問題が解決しました。
- キーボードの矢印キーを押すと現行ドキュメントが視界の外に移動してしまう問題が解決しました。
- 現行設定として矢印が選択されていると表オブジェクトを作成した際、オブジェクトを構成する線が矢印になってしまう問題が解決しました。
- オブジェクトが選択されていない状態でページの表示倍率を画面左下のズームバーから行くと、ページの中央を対象にズームがされない問題が解決しました。

- SVG ファイルを読み込むとポリゴンの始点と終点がアンカーポイントとして認識されてしまう問題が解決しました。
- イメージオブジェクトのみを選択して作成したシーケンスは正しく動作しない問題が解決しました。
- EMF イメージオブジェクトは Canvas X オブジェクトに正しく変換されない問題が解決しました。
- ガイドに吸着機能が新規ドキュメントで常にオンになっている問題が解決しました。
- 検索パレットのテキストタブで「全て置換」を選択しても正しく動作しない問題が解決しました。
- 検索パレットの[属性を取り込む]を使用すると、その後の検索操作が正しく動作しなくなる問題が解決しました。
- 検索機能で一部のオブジェクトを選択できない問題が解決しました。
- 選択されたテキストの背景色を変更する際に発生していた問題が解決しました。
- DICOM ファイルを開くことができない問題が解決しました。
- イメージメニュー>読み込みで PSD ファイルを読み込むとドキュメントのサイズがおかしくなる問題が解決しました。
- [切り取り&スケッチ]で貼り付けた画像を[元に戻す]で取り消すと、プログラムが不安定になる問題が解決しました。
- スプライトツールでイメージの外側をクリックもしくはドラッグすると、編集モードが終了してしまう問題が解決しました。
- CGM ファイルの読み込みオプションダイアログで「フォント適合」機能が正しく動作していない問題が解決しました。
- シーケンス機能を利用しオブジェクトの回転を記録した際、実際に回転させた方向とは逆の方向で再生されてしまう問題が解決しました。
- テキストとパスを結合しパスを隠して表示した後、他のオブジェクトとグループ化した際、隠したパスオブジェクトがグループオブジェクトに含まれない問題が解決しました。

- テキストの回り込みで[オブジェクトの内側]にテキストを回り込ませていると、コピー & 貼り付けもしくはテキストの複製をした際テキストとオブジェクト両方が選択された状態が維持されてしまう問題が解決しました。
- テキストの回り込みで[オブジェクトの内側]にテキストを回り込ませていると、テキストを入力した際、新たに別のテキストオブジェクトが作成されてしまう問題が解決しました。
- 文字入力の際、入力スピードが速いと全ての文字が入力されない問題が解決しました。
- 編集メニュー > 選択範囲を反転を選んだ際、ベクトルオブジェクトのアンカーポイントには適用されない問題が解決しました。

Canvas X geo で解決した問題

- GDB (ESRI File Geodatabase) を開くから選択すると *.gdbtable ファイルがリストされていない問題が解決されました。

既知の問題

- イメージメニュー > プロキシはメニューより削除されました。
- 編集メニュー > コピースペシャルはメニューより削除されました。
- CMX 形式の読み込みは非対応となりました。

Canvas X 2020/Canvas X Geo 2020

ビルド 440 リリースノート

改善点

- ファイルメニュー→[テンプレートから新規作成]が追加されました。
- 表ツールを作成してテキストを入力する際、プロパティバーに[テキストとしてコピー]ボタンが追加されました。これにより行と列のデータを表計算シートにコピーすることができます。
- 編集メニュー→[同じ位置に貼り付け] (Ctrl+Shift+V ショートカットキー)が追加されました。この機能により、オブジェクトを別のシートやページに貼り付ける際、オリジナルと同じ場所に貼り付けることができます。
- Ctrl キーを押しながらマウスをスクロールする事でオブジェクトを拡大/縮小できるようになりました。
- レイアウトメニュー→[スマートマウス&ガイド]からスマートマウス及びバーチャルガイドの設定が現在オンなのかオフなのかを確認できるようになりました。
- ドキュメントレイアウトパレットでシートやページをドラッグしながら前後の位置を移動する際の動作が改善しました。
- 画像ファイルを開いた場合、自動的にドキュメントの単位がピクセルとして設定され開くようになりました。

解決した問題

- パスメニュー→[ストロークをパスに変換]を適用した際、ペンの内と外側のストロークを無視して変換していた不具合が解決しました。
- 複数の表オブジェクトはドキュメント内へコピー/貼り付けできない問題が解決しました。

- JPEG や TIF ファイルに組み込まれた EXIF の日付がエクスポートされない問題が解決しました。
- インデックスカラーの画像を縮小すると残像が残る問題が解決しました。
- Canvas X でコピーしたオブジェクトを PowerPoint に正しく貼り付け出来ない問題が解決しました。
- 閉じた多角形オブジェクトにシンボルペンストロークを適用すると、最後のポイント（点）に余分なシンボルが表示されてしまう問題が解決しました。
- 書式スタイルを含んだ CVD ファイル（Canvas Draw for Mac で作成されたファイル）を開いた際、その名称が正しく認識されない問題が解決しました。
- プログラムを再起動すると再起動前に設定していたプロパティバーのスマート吸着オン ▶ /オフの状態が維持されない問題が解決しました。
- ドキュメントレイアウトパレットの検索機能は現行ページで最初にマッチしたアイテム以外は検索結果として認識されない問題が解決しました。
- 画像上の一部をマーキーツールで選択し、イメージメニュー> 選択範囲からパスを選択しても、選択領域はパスに変換されずマーキーツールのままで維持されてしまう問題が解決しました。
- 筆ペンのストロークは PDF や SVG ファイルへ書き出した際、正しく書き出されない問題が解決しました。
- 他のドキュメントを開いている状態で、CVTPL ファイルを開きページナビゲーターで表示しようとしても、正しく表示されない問題が解決しました。
- スムース多角形オブジェクトは多角形としてステータスバーに表示されてしまう問題が解決しました。
- ドキュメントレイアウトパレット上でコラムのヘッダーアイコン上にマウスを移動させてもツールのヒントが表示されない問題が解決しました。
- 寸法オブジェクトをリサイズした後、元に戻す機能を適用してもすぐに作用しない問題が解決しました。
- リニア寸法で計測したオブジェクトが整列できない問題が解決しました。

- スマートマウスがオンになっている状態で、表オブジェクトのセルのテキストを選択しようとした際に生じる問題が解決しました。
- ヘッダとフッタのデータや時刻スタンプを選択し、他に置き換えようとした際に生じる問題が解決しました。
- スマートマウスパレットでアンカーポイント、中心、交差点が選択されている状態で、ガイドレイヤーからガイド線を作成しようとした際に生じる問題が解決しました。
- レンズオブジェクトに対してスマートベクトル塗りツールを適用しようとした際に生じる問題が解決しました。
- フォントパレットのフォントの属性を変更しようとした際に生じる問題が解決しました。
- パスに結合されたテキストの一部が隠れている場合、フォントを変更すると発生した問題が解決しました。

既知の問題

- Ctrl+Shift+V ショートカットキーは編集メニュー> [選択範囲内へ貼り付け]から[同じ位置に貼り付け]に変更されました。

Canvas X 2020/Canvas X GIS 2020

ビルド 417 リリースノート

新機能

- **ビジュアル統合ツール**：複数オブジェクトの重なり合った部分から新しいオブジェクトを作成する為のツールです。
- **ベクトルブラシツール**：筆ペンのようなストロークで自由にパスを描くことができます。
- **パス計測ツール**：このツールで多角形を描くとその距離を計測し、多角形に設定された速度のパラメータからその距離に必要な時間や徒歩を算出することができます。
- **QR コード**：スマートフォンなどのアプリで解読可能な QR コードを作成してドキュメントに配置することができます。
- **インクストローク**：クリックするとベクトルオブジェクトの属性（塗りインク、ペンインク、ストローク）、と同様の属性を持つベクトルオブジェクトをすべて選択することができます。
- **数式を作成**：数式オブジェクトを作成してドキュメント上に配置することができます。数式オブジェクトは後で数式の変更やサイズや色の編集が可能です。
- **等角投影ガイド**：等角投影ガイドを利用して等角投影図のオブジェクトを描くことができます。
- **多角形に変換**：ドローやテキストオブジェクトを多角形に変換します。

改善点

- 表ツールで作成したデータをプロパティバー上でソートすることができるようになりました。(A から Z、Z から A、昇順、降順)
- スマート吸着ツールの吸着オプションとして 2 つのオプションが追加されました。(可視オブジェクトのみを対象、グループ内のオブジェクトも対象)

- シンプルなベクトルオブジェクトであれば全てオブジェクトの端にスマートラインを接続させることができるようになりました。
- リニア寸法及びオブジェクトサイド寸法ツールは計測したベクトルオブジェクトに吸着するようになりました。これにより、オブジェクトをリサイズすると同時に寸法値もリサイズされます。
- スマートシェイプツールを選択した際プロパティバーには、等辺チェックボックスと辺の長が表示されるようになりました。これにより全ての辺の長さが同じ三角形、ひし形、五角形、六角形、八角形を作成することができます。
- 筆ペンのキャップに先細りオプションが追加されました。
- ネオンストロークの端の形状に先細りオプションが追加されました。
- ツールボックスのプリセットパレットに「適用する属性をデフォルトに設定」チェックボックスが追加されました。これにより直前に使用した属性がデフォルト属性として設定できます。
- 文字を入力する前に設定したフォントやフォントサイズはデフォルト設定として適用されます。
- 矢印キーを数回押してオブジェクトを移動した際、取り消しや繰り返しと言った操作を行うと、移動したオブジェクトははじめの位置にすぐに戻ります。
- ガイドレイヤーを最初に表示した際は、ドキュメント上の上下左右に 4 つのガイドラインが作成されます。
- さらに多くの編集モードアイコンが追加されました。これらはプロパティバーの左上に表示されます。
- ページクロップツールを選択するとプロパティバー上にスケールタイプが表示されるようになりました。(クロップしてページサイズを変更、ページに合わせてスケール、オブジェクトのみクロップ)
- ページナビゲーターパレット内のシートやページでマウス右クリックをするとコンテキストメニューが表示されるようになりました。(シート/ページプロパティ、削除、挿入、複製、移動)

- ファイルメニュー→ Web へ保存に「現行ページのみを（GIF または JPEG 形式で）一枚のイメージとして保存する」オプションが追加されました。
- SVG/SVGZ 書き出しオプションの「選択範囲の境界枠を使用」チェックボックスは、オブジェクトを書き出す際ドキュメントサイズで書き出すのではなく、選択範囲サイズで書き出します。
- 効果メニュー→ 統合はスマートシェイプオブジェクトにも適用することができるようになりました。
- 表ツールオブジェクトを Shift+Alt+ドラッグすることでフォントサイズも縦横比を保ってスケールすることができます。そしてテキストメニュー→ フォントサイズを標準化を適用することができます。
- ページ内に1つ以上のガイドレイヤーが存在する場合を考慮して、現在アクティブなガイドレイヤーは“*”で表示されます。
- 「次へ」または「前へ」を表示するプロパティバー上の矢印アイコンは見やすくする為、青色でハイライトされるようになりました。
- プロパティバーの統合で操作可能な同時に選択されたベクトルオブジェクトの最大数が
➤ 20 に増えました。
- イメージメニュー→ 自動トレースでトレースしたオブジェクトを、マスクオプションをオンにして PNG 形式で保存する操作におけるスクリプト処理が可能となりました。

解決した問題

- パスメニュー→ ストロークをパスに変換を適用した際、ペンの内と外側のストロークを無視して変換していた不具合が解決しました。
- リニア寸法ツールで測定したオブジェクトを編集した際、測定値が正しく再表示されない不具合が解決しました。
- 変形させたオブジェクトの X もしくは Y の値と高さもしくは幅の値をプロパティバーで編集すると正しく表示されない不具合が解決しました。

- DWG 形式でオブジェクトを書き出した際、オブジェクトによっては正しい縮尺で書き出されない不具合が解決しました。
- レイアウトメニュー→シート/ページ/フレーム/スライドで、シート/ページ/フレーム/スライドを削除した際、ページナビゲーターパレットのサムネイルプレビューがリフレッシュされず正しく表示されない不具合が解決しました。
- ファイルメニュー→配置で画像を配置した際、編集メニュー→取り消しで操作の取り消しが効かない不具合が解決しました。
- エンベロップオブジェクトを編集モードにすると、選択ハンドルが正しく表示されずステータスバーでは曲線編集モードとして表示される不具合が解決しました。
- シンボルストロークの中心線がシンボル上に描かれてしまう不具合が解決しました。
- 属性パレットで編集した RGB や CMYK のインクをオブジェクトへ適用すると同じインク名で表示されない不具合が解決しました。
- 曲線ツールで描いたオブジェクトを選択した際にプロパティバー表示される角度のフォーマットが、ドキュメント上で設定した数値フォーマットに正しく反映されていない不具合が解決しました。
- ステータスバーに表示されるペン幅の値が数値フォーマットの値に従って表示されない不具合が解決しました。
- ハッチまたはシンボルインクの背景色にプリセットパレットから「最近使ったインク」を適用しようとしても適用されない不具合が解決しました。
- 円を回転すると面積と円周の値が変わってしまう不具合が解決しました。
- 筆ペン、平行線ストローク、シンボルストロークに対してパスメニュー→シンプルパスに変換を適用すると、正確に変換されない不具合が解決しました。
- マスターページを複製しようとするクラッシュする不具合が解決しました。
- 極細のストローク幅を使用して描いたオブジェクトに対してパスメニュー→ストロークをパスに変換を適用すると、クラッシュする不具合が解決しました。

既知の問題

- ハイフネーションはデフォルトではオフになっています。オンにする場合は、書式パレットのハイフンタブでハイフネーションにチェックを入れてください。
- Windows の OS(Windows 7、8、8.1)をアップデートしていないと、Canvas X を起動した際.dll ファイルが見つからないというエラーメッセージが生じる可能性があります。このエラーが生じた際は、以下 Microsoft 社のサイトを参照し Windows の OS をアップデートしてください。その後 Canvas X を一度アンインストールし、再度インストールしてください。

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/2999226/update-for-universal-cruntime-in-windows>

- Surface Pro 4 にインストールした Canvas X で筆圧感知を可能にするには、最新の WinTab ドライバーをダウンロードしインストールした後 OS を再起動してください。その後 Canvas X を起動してください。
- Canvas X をインストールした後コンピュータを再起動することをお勧めします。再起動することにより、必要なパッケージが完全にオペレーションシステムにインストールされます。

非対応項目

- ドキュメントサイズや方向が異なるシート/ページで構成された複数ページドキュメントを作成した場合、作成した通りには印刷されません。印刷する場合は、他と異なる設定をしたドキュメントは別々に印刷してください。